

# キラリママ応援事業【茨城県笠間市】

## 地域の実情と課題

女性の労働力率は、全国的な傾向と同じく結婚・出産時期に当たる30歳代に著しく減少する「M字カーブ」を描いている。平成28年市民意識調査では、職場において女性が結婚や出産を理由に退職する慣例があるかないか調査したところ、「ある」と答えた人は17.4%となっており、結婚・出産した女性が就業継続できる環境が整備されたとは明確にはいえない状況にある。

今後も人口減少により産業の衰退が危惧されるなか、職業生活における女性の活躍推進は急務の課題であり、行政、事業者、労働者が連携し、働きたいと思う女性が、個性や能力に応じて多様な働き方で社会において活躍できるような環境づくりが求められている。

## 目的・目標

価値観やライフスタイルが多様化するなか、就労の形態もさまざまな形が登場しているが、働きたいと思っている女性の能力が社会で十分に活かされていないため、女性の就業能力向上・意識啓発のための復職支援セミナーやチャレンジ支援セミナー、多様な働き方の普及を目的とした企業及び事業経営者等向けセミナーなどを開催する。

[目標]セミナー参加者数 160人⇒66人(ママカレッジ, 多様な働き方合計)  
達成度41.2%

## 事業の特徴

### ◆ママカレッジ事業

家庭と仕事の両立を目指し、自分らしい生き方・働き方を考える子育てママを対象に、復職支援セミナーやチャレンジ支援セミナーを開催。

### ◆多様な働き方促進事業

市内企業から「子連れ出勤等」の試行モデル企業を選定し、コンサルティング、事例発表等を実施。生産性の向上に向けた働き方の多様化を促進するため、企業及び事業経営者等向けセミナーを開催。

## 連携団体

### ◆男女共同参画審議会

人権擁護委員協議会、市議会、男女共同参画推進事業者、商工会、男女共同参画推進連絡協議会、防災会議、大好きかさまネットワークー連絡協議会、教育委員会指導室、子ども・子育て会議、介護者の会

## 事業の効果

### ◆ママカレッジ事業

自分らしい生き方・働き方についてヒントを得るほか、参加者同士の交流も図ることができた。

### ◆多様な働き方促進事業

多くのメディアに取り上げられ、事例発表も行ったことにより子連れ出勤に関する理解を広めることができた。また情報交換により他社の状況・取組を知ることで、多様な働き方について取り組む必要性を認識してもらうことができた。セミナー終了後は、子育てをしながら働ける環境づくりを進めたいと、具体的に取り組む企業が確実に増加した。

## 今後の課題

### ◆ママカレッジ事業

価値観やライフスタイルが多様化しているなか、より多くの女性に参加してもらうためには、ニーズに合った事業展開を進めるほか、意識啓発の手法等、更なる工夫が必要がある。

### ◆多様な働き方促進事業

参加者数が目標数値に届かなかったことから、今後は地域の実情に応じた環境整備等、地元企業のニーズに合った事業展開を進める必要がある。

# 事業の概要

## ママカレッジ事業

### ◆ Facebook活用セミナー

自宅でスモールビジネスを検討している方や開業したての方など、SNS活用のメリットを学んだ。

【開催】平成30年9月18日(火)  
10:00～12:00  
地域交流センターともベトモア



【参加者】20名

### ◆ 仕事と家事育児の両立応援セミナー

仕事と家事育児の両立のコツを理解し、イキイキ働くためのポイントを学ぶとともに、子育てをしているママ同士の交流を深めた。

【開催】平成30年11月14日(水) 13:00～15:00  
地域交流センターともベトモア



【参加者】11名

### ◆ 社員を活かす働き方セミナー

子連れ出勤を含めた多様な働き方の事例から具体的な手法を学び、企業の働き方改革について議論した。

【開催】平成31年2月18日(月) 10:00～12:00  
地域交流センターともベトモア



【参加者】10名

## 多様な働き方促進事業

### ◆ 子連れ出勤試行

市内企業から「子連れ出勤等」の試行モデル企業を選定。3名がNPO法人子連れスタイル推進協会のコンサルティングのもと、子連れ出勤を実施した。

【実施時期】平成30年9月～平成31年1月



### ◆ 事業者向け情報交換会

子育て世代の新たな働き方の一つとして試行された子連れ出勤の事例発表を中心に、仕事と育児を両立させるための働き方について事業者同士情報交換を行った。

【開催】平成31年1月25日(金) 13:00～15:00  
地域交流センターともベトモア

【参加者】24名

